

IV 事業

1 令和5年度事業報告

令和5年度事業の概要

当財団は、新潟市民の芸術文化及び歴史文化の振興を図り、もって、自主的自発的な市民文化の創造に寄与することを目的とする公益財団法人として、新潟市において感動と驚きに出会い、そして共に生きる絆を創る人々の文化的プラットフォームの構築に寄与し続けるための事業を実施しています。

令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行し、人・モノ・情報の動きが活発化する中、指定管理施設を生かして、市民各層の皆さまに多様な分野による質の高い創造的な芸術文化事業を提供し、合わせて普及と育成に努めました。また、歴史博物館等を通じ、「みなとまち新潟」の魅力を広く皆さまから楽しんでいただくための事業を行いました。

財団運営では、新潟市の財政が厳しい状況下において、事業の効率化に努め、経費の圧縮と節約を常に意識しながら取り組みを進めました。

当財団の事業体系は以下のとおりです。

(公益目的事業)

公1 事務局事業

- 1 文化事業
 - ・アーツカウンシル新潟の運営
 - ・主催・共催、表彰顕彰事業
- 2 会議の開催状況

公2 芸術文化会館・音楽文化会館・県民会館事業

○市民芸術文化会館及び音楽文化会館

- 1 文化事業
- 2 文化施設管理受託事業

○県民会館

- 1 文化事業
- 2 文化施設管理受託事業

公3 歴史博物館等・旧小澤家住宅事業

○歴史博物館及び旧新潟税関庁舎等

- 1 文化事業
- 2 文化施設管理受託事業

○市文化財旧小澤家住宅

- 1 文化事業
- 2 文化施設管理受託事業

(収益事業)

収1 付帯・施設貸与事業

- 1 付帯事業（各施設）
- 2 施設貸与事業（各施設）

事業報告の詳細については、次に記載のとおりです。

1 文化事業 40, 381, 591 円

「アーツカウンシル新潟」の運営を通じ、市民の自主的な文化芸術活動を支援したほか、新潟市の文化的な環境の充実、各分野の文化活動の活性化を目的とした事業を実施した。

(1) アーツカウンシル新潟の運営 28, 359, 838 円

市民の文化芸術活動の活性化を図るとともに、国際観光の振興や経済活動の推進につなげ、持続的な文化創造交流都市の推進体制を構築することを目的に、1.市民文化芸術活動支援、2.調査・研究、3.情報発信、4.企画立案の機能を有する専門人材による組織「アーツカウンシル新潟」の運営を行った。(平成28年9月26日設立)

① アーツカウンシル事業 (25,465,200)

【文化芸術活動の支援】

ア 相談

市民団体等の文化芸術活動に関して、企画、広報、財源確保策などの助言、支援を行った。

○ 相談対応件数 152 件 (98 団体等から)

内訳：一般相談 26 件、助成関連 124 件、コロナ関連 2 件

イ 助成

市民による文化芸術活動の基盤、仕組みづくり及び環境の創出をめざす取り組みに特化した助成事業である「文化芸術基盤整備促進支援事業」を平成29年度から引き続き実施し、助言（相談）・審査・支援を行った。令和5年度採択事業が3年度目を迎え、当支援事業は令和5年度をもって終了。

○ 文化芸術基盤整備促進支援事業

申請件数 1 件（継続）、採択件数 1 件、交付確定総額 385,000 円

また、昨年度までの「テーマ別プロジェクト助成」（令和4年度新設）と「文化芸術団体ステップアップ助成金」（令和2年度新設。「団体助成」へ名称変更）に、初めて文化芸術活動に取り組む団体や、新たに挑戦するプロジェクトを応援する「新プロジェクトへのチャレンジ助成」を加え、これら3つの制度を「文化芸術活動に関する支援事業」として再構築した。文化芸術活動をとおしてより豊かな地域社会の実現をめざす取り組みを対象に募集・助言（相談）・審査・支援を行った。

○ 文化芸術活動に関する支援事業

・新プロジェクトへのチャレンジ助成

申請件数 6 件、採択件数 3 件、交付確定総額 250,000 円

・テーマ別プロジェクト助成

申請件数 19 件、採択件数 5 件、交付確定総額 1,450,000 円

・団体助成

申請件数 4 件、採択件数 2 件、交付確定総額 195,000 円

ウ 市以外の助成制度等外部資金の活用、マッチング

市民団体等からの相談内容に応じて、国や民間財団等による助成制度を紹介する等の支援を実施した。

エ 助成制度周知・支援活動拡大に向けた広報活動・ネットワークづくり等

「相談」「助成」による支援に加え、市民の文化芸術活動・意識を把握すると共に、文化芸術への関心・興味を醸成し、新潟市を文化で魅力的なまちにしたいと考えている方々との交流機会を設けることを目的に、トークセッションを実施した。

- トークセッション「“にいがた”を“ぶんか”で〇〇する作戦会議@み〜つ」

日時（参加者数）：令和 5 年 11 月 2 日（木） 19:00～20:00（10 人）

11 月 3 日（金・祝）14:00～15:00（10 人）

ゲストファシリテーター：

2 日 迫一成（hickory03travelers 代表、上古町の百年長屋 SAN 館長）

3 日 榎本広樹（りゅーとぴあ事業企画部長）、富永広紀（りゅーとぴあ広報営業課長）

会場：み〜つ待合室 by SAN（新潟三越跡地バス）

協力：み〜つ、りゅーとぴあ新潟市民芸術文化会館事業企画部

【調査・研究】

- 現地視察及び支援を通じた市内文化芸術団体に係る実態調査
- 市の文化政策の向上に資する調査・研究、人材育成等
 - ・インターンシップ受入れ（2 名）
 - ・『新潟市文化創造都市ビジョン』素案に対する意見募集」への意見提出

【情報発信】

ホームページの運営を行うとともに、有識者等ゲストを交えた交流企画「語りの場」及びトークイベントを開催した。

また、地域アーツカウンシルに関する視察、ヒアリング（オンラインを含む）等の受け入れを行った。

- アーツカウンシル新潟 公式ホームページの構築・運用

・年間ビュー数：44,105 ビュー

- アーツカウンシル新潟 SNS の運用

対象期間：令和 5 年度	投稿件数	ページフォロワー数	ページいいね数
facebook	61 件	913 件	683 件
X(旧 twitter)	35 件	174 件	
Instagram	32 件	277 件	

- ゲストを交えた交流企画の開催 ※ゲスト敬称略

・「語りの場」の開催 実施回数：計 3 回、参加 108 人

第 1 回 会社員と演劇人、どうやって両立する？ [令和 5 年 10 月 20 日(金)、46 人]

ゲスト：中村ノブアキ（JACROW 代表・脚本家・演出家）

協 力：りゅーとぴあ事業企画部

第 2 回 振付家の役割、その多様性 [令和 5 年 11 月 4 日(土)、32 人]

ゲスト：チョン・ヨンドウ、池ヶ谷奏（振付家・ダンサー）

通 訳：韓ヨルム

協 力：NPO 法人ジャパン・コンテンポラリーダンス・ネットワーク

第3回 障がいのある人の表現活動調査 これまでとこれから

[令和6年3月6日(水)、30人]

ゲスト：前山裕司（新潟市美術館 特任館長）、小林誉尚（社会福祉法人とよさか福祉会
クローバー）、吉川遼郁（新潟市 文化スポーツ部 文化政策課（文化創造推進室））

協 力：新潟市

- シンポジウム等への講師
 - ・学校授業協力 2件（新潟市立高志中等教育学校、北越高等学校）
- 視察、ヒアリング受入実績
 - ・対応数：4件（個人1名、大学生2名（東京藝術大学、筑波大学）、クリエイティブ・リンク・ナゴヤ）

【企画・立案】

市の文化政策に関する取り組みや、他組織・団体からの相談内容に応じて、調査等に基づく専門的な見地から助言・提言・事業協力を行った。

- 市文化芸術関連事業への支援（助言、提案、運営支援等）
 - ・行政関係からの相談件数 4件
 - ・文化芸術による共生社会推進事業（表現活動調査及び展示）協力
 - ・新潟市文化・スポーツコミッションアドバイザリー会議 委員（高橋）
 - ・新潟勤労者総合福祉センター指定管理者申請者評価会議 委員（高橋）
 - ・視覚障害者のための美術鑑賞会（新潟市視覚障害者福祉協会）
 - ・レジデンシャル事業(Noism Company Niigata)の活動評価に関する有識者会議(オブザーバー)
- 組織の自律化に向けた取り組み
 - ・イオン電子マネー「にいがた BUNKA WAON」（ご当地 WAON カード）の販売促進
寄付金額 1,388,157 円（2022 年 3 月 1 日～2023 年 2 月 28 日利用分）
 - ・市内大学との連携（新潟大学、敬和学園大学 講師派遣）
- 県及びその他全国組織等との連携
 - ・県及びその他団体からの相談件数 10 件（9 団体から）
 - ・新潟県文化振興有識者懇談会 委員（高橋）
 - ・アートミーティング at さいたま国際芸術祭（協力）
主催：さいたま国際芸術祭実行委員会、社会福祉法人みぬま福祉会
 - ・Choreographers 2023 新潟公演（協力）
主催：NPO 法人ジャパン・コンテンポラリーダンス・ネットワーク、（公財）全国
公立文化施設協会
 - ・障害のある人と考える舞台芸術表現と鑑賞のための講座 上映会（協力）
主催：文化庁、一般社団法人 DRIFTERS INTERNATIONAL
 - ・にいがたミュージックバンク「～みて・きいて・ならして～ みんなで楽しむ おんが
くワークショップ」（協力）
主催：にいがたミュージックバンク

② 文化庁他、委託・補助事業関連 (2,894,638)

○ アーツカウンシルネットワーク (AC-net) に関する運營業務

- ・独立行政法人日本芸術文化振興会 (日本版アーツカウンシル) が主催する全国の地域アーツカウンシルの連携組織である AC-net の運營業務を受託し、各地のアーツカウンシル機能を持つ組織および設立を検討している団体と連携調整を行い、ミーティングの開催運営、情報収集・提供を実施した。

(2) 坂口安吾顕彰事業 10, 138, 694 円

新潟市が管理する安吾 風の館 (旧市長公舎) で下記展覧会を開催したほか、「坂口安吾デジタルミュージアム (HP)」の充実を図り、安吾顕彰団体と連携した生誕祭を行った。新型コロナウイルスの影響で激減した団体見学等の回復がみられ、また高校生、専門学校生、大学生の課外活動、各自治体等主催の見学、新潟市が行う市政さわやかトーク宅配便、顕彰団体「安吾の会」が毎月開催する「安吾 風の館」見学とゆかりの地めぐりへの協力など、安吾の普及啓発に努めた。

・「人の子の親となりて」展

開催日 令和 5 年 4 月 12 日～8 月 20 日 96 日間 入館者 1,333 人

内 容 46 歳ではじめてこどもをもった安吾の戸惑いと次第に愛情を深めて行く様子を紹介した。名前の由来を書いた「命名の書」や着物の胸の部分を取り取り、自ら手縫いしたお守り袋、寝冷え防止の腹掛けをデザインしたものなど、父としての一生懸命な姿がみえる。桐生の自宅で撮られた写真には、子に向けた少し緊張した、しかし穏やかな表情が映し出され、「砂をかむ」など 3 篇のエッセイには、子と接する中で次第に感謝の気持ちを感じるようになったことが書かれていて興味深い。

・「安吾と囲碁」展

開催日 令和 5 年 9 月 2 日～12 月 17 日 77 日間 入館者 1,199 人

内 容 若い頃より囲碁好きであった安吾が長編小説を書くつもりで出かけた京都で、上級者につき、棋譜を覚えて本格的に囲碁にのめり込んだ。棋聖と称された呉清源や岩本因坊との親交、囲碁好きの作家 (川端康成、尾崎一雄、豊島与志雄等) や学者らの集う文壇囲碁会での交流を安吾作品や書簡から紹介した。自慢の碁盤や碁石も展示して、安吾の囲碁への耽溺ぶりや、棋風からその人の性格を安吾なりに論じたものなど、多くの人に関心をもっていただいた。

・「安吾って!? Part 6」展

開催日 令和 6 年 1 月 4 日 1 日間 入館者 13 人

内 容 「坂口安吾」全般を紹介する、いわゆる常設展的展示であり、今回が 6 回目。遺愛の品、文房具、自筆原稿、初版本などを展示。また友人達の思い出話、作品発表時の同時代評など、友人、評論家などを通して語られる坂口安吾や安吾作品を紹介した。

1 月 1 日に発生した能登半島地震の影響で、被害はなかったが、旧市長公舎が耐震構造ではないため、臨時休館することになり、3 月 26 日までの開催予定であったが、展示は 1 日限りで終了した。

(3) 共催事業 1,800,849 円

対象が市内広域におよぶ、文化振興に大きく貢献する以下の文化事業を共催し、負担金を支出した。

- ・ 第 35 回新潟市伝承芸能保存会 郷土芸能公演「郷芸」 (300,000)
開催日 令和 5 年 10 月 1 日 入場者 117 人
- ・ 第 71 回新潟市芸能まつり (1,062,289)
開催日 令和 5 年 10 月 1 日～令和 6 年 1 月 28 日 入場者 11,179 人
- ・ 第 55 回新潟市美術展 (350,000)
開催日 前期：令和 5 年 10 月 11 日～15 日／後期：令和 5 年 10 月 18 日～22 日
入場者 4,635 人

(4) 表彰顕彰事業 82,210 円

新潟市で開催される公募展に財団賞を交付し、底辺の拡大を図った。

- ・ 新潟市美術展 6 部門
- ・ 新潟県工芸会展 1 部門
- ・ 二科新潟支部展 1 部門

2 会議の開催状況

(1) 評議員会

- ① 第 1 回 (定時) 令和 5 年 6 月 8 日
 - ・ 令和 4 年度事業報告及び決算について
- ② 第 2 回 令和 5 年 6 月 30 日【書面】
 - ・ 評議員の辞任に伴う補欠選任について
- ③ 第 3 回 令和 6 年 3 月 30 日【書面】
 - ・ 評議員の辞任に伴う補欠選任について
 - ・ 理事の辞任に伴う補欠選任について
 - ・ 令和 6 年度事業計画及び予算について (報告)

(2) 理事会

- ① 第 1 回 令和 5 年 5 月 24 日
 - ・ 理事長専決処分について (令和 4 年度補正予算)
 - ・ 令和 4 年度事業報告及び決算について
 - ・ 定時評議員会の日時及び場所並びに目的である事項について
 - ・ 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況について (報告)
- ② 第 2 回 令和 5 年 6 月 20 日【書面】
 - ・ 第 2 回評議員会の日時及び場所並びに目的である事項について
- ③ 第 3 回 令和 6 年 3 月 28 日
 - ・ 理事長専決処分について (臨時職員就業規則の一部改正)

- ・規則、規程の一部改正（職員就業規則、嘱託職員就業規則、特別職員就業規則、臨時職員就業規則、給与規程、市民芸術文化会館「自主文化事業」特定費用準備資金取扱規程、市民芸術文化会館「施設管理事業」特定費用準備資金取扱規程、音楽文化会館「施設管理事業」特定費用準備資金取扱規程）について
- ・常勤役員の報酬等の金額について
- ・令和 6 年度事業計画及び予算について
- ・第 3 回評議員会の日時及び場所並びに目的である事項について
- ・代表理事及び業務執行理事の職務執行状況について（報告）

○ 新潟市民芸術文化会館及び新潟市音楽文化会館

1, 199, 069, 275 円

1 文化事業 590, 554, 623 円

市民芸術文化会館の3つの専門ホールと音楽文化会館等諸施設を十分に生かした、質の高い創造性あふれる鑑賞事業を主催するとともに、ジュニア世代の育成と舞台芸術の愛好者の拡大を目的とした育成普及事業を行うことで、新潟市における芸術文化の振興を図った。

また、新潟市及び全国に向け積極的に音楽・演劇・能楽・舞踊などの舞台芸術を創造発信することにより、新潟市の芸術文化活動の拠点施設としての役割を果たすとともに、シビックプライドの醸成と我が国の芸術文化の振興に努めた。

(1) 音楽事業 148, 183, 464 円

東京交響楽団との提携による質の高い演奏と幅広い曲目内容の演奏会、日本を代表するコンサートホールにふさわしい演奏家を招聘した世界水準の演奏会、親子を対象とした音楽ファン拡大のための演奏会など、バラエティに富んだプログラム内容を実施した。12月の「りゅうとぴあジルベスターコンサート 2023」では東京交響楽団、専属オルガニスト 石丸由佳、Noismの演奏出演を実施するなど開館25周年事業に相応しい事業を行った。このほかの企画内容においても市民各層のさまざまなニーズに応えるラインナップとした。

① 魅力創造事業 (70,507,804)

ー東京交響楽団シリーズー

・東京交響楽団新潟定期演奏会

第131回	～エルガー:チェロ協奏曲 ホ短調 作品85～	令和5年6月4日(日)
第132回	～メンデルスゾーン:交響曲第2番 変ロ長調 作品52「讃歌」～	8月20日(日)
第133回	～R.シュトラウス:交響詩「英雄の生涯」作品40～	9月24日(日)
第134回	～ベートーヴェン:交響曲第6番 へ長調 作品68「田園」～	11月12日(日)
第135回	～チャイコフスキー3大バレエ選集～	12月3日(日)

・東京交響楽団特別演奏会

りゅうとぴあジルベスターコンサート 2023 [開館25周年事業]

令和5年12月31日(日)

② 鑑賞事業 (40,499,404)

ーオーケストラシリーズー

・読売日本交響楽団 [開館25周年事業]

令和5年10月9日(月・祝)

・チェコ・フィルハーモニー管弦楽団 [開館25周年事業]

令和5年10月30日(月)

ーピアノ・リサイタルシリーズー

・谷昂登

令和5年5月13日(土)

・小林愛実

令和5年11月23日(木・祝)

ー室内楽シリーズー

- ・ 藤木大地&みなとみらいクインテット 令和 5 年 5 月 3 日(水・祝)
- ・ アークプラス 令和 5 年 9 月 3 日(日)
- ・ ジュリアード弦楽四重奏団〔開館 25 周年事業〕 令和 5 年 10 月 17 日(火)

ーオルガン・シリーズー

- ・ オルガン・クリスマス特別公演 2023 令和 5 年 12 月 16 日(土)
- ・ 石丸由佳ラストリサイタル〜新潟の風景〜 令和 6 年 3 月 16 日(土)

ーホール体験事業ー

- ・ 1 コインコンサート
- Vol.124 「チューバ」 令和 5 年 5 月 19 日(金)
- Vol.125 「フルート」 令和 5 年 6 月 24 日(土)
- Vol.126 「チェロ」 令和 5 年 7 月 20 日(木)
- Vol.127 「オルガン」 令和 5 年 9 月 8 日(金)
- Vol.128 「ピアノ」 令和 5 年 10 月 4 日(水)
- Vol.129 「弦楽四重奏」 令和 5 年 11 月 28 日(火)

③ 育成事業 (31,720,476)

ー市民参加事業ー

- ・ にいがた東響コーラス 令和 5 年 4 月～令和 5 年 8 月

ージュニア等育成事業ー

- ・ ジュニアオーケストラ教室育成事業 通年
- 第 42 回演奏会 令和 5 年 8 月 27 日(日)
- クリスマス・コンサート 令和 5 年 12 月 24 日(日)
- ・ ジュニア合唱団育成事業 通年
- 第 33 回定期演奏会 令和 5 年 7 月 16 日(日)
- クリスマス・コンサート 令和 5 年 12 月 23 日(土)
- ・ ジュニア邦楽合奏教室育成事業 通年
- 第 28 回定期演奏会 令和 5 年 7 月 23 日(日)
- ・ ジュニア音楽教室第 20 回スプリングコンサート 令和 6 年 3 月 31 日(日)
- ・ 全国公立ジュニアオーケストラ連絡協議会 通年
- ・ 新潟県少年少女合唱団合同演奏会 (長岡市立劇場) 令和 5 年 8 月 12 日
- ・ にいがたジュニアコーラスフェスティバル 令和 6 年 2 月 12 日(月・祝)

ーオルガンほか事業ー

- ・ オルガン講座 (通年・短期) 通年
- ・ りゅーとぴあ音楽アーツ・マネジメント研修 令和 5 年 8 月 8 日(火)～11 日(金・祝)
- ・ It 's ニイガタ コンサート 2024 令和 6 年 1 月 20 日(土)～21 日(日)

④ 普及事業 (5,455,780)

- ・ りゅーとぴあアウトリーチ事業[音楽] 令和 5 年 9 月 15 日(金)～11 月 30 日(木)
- 第 5 期登録アーティスト ジョイントコンサート (音楽文化会館) 令和 6 年 3 月 8 日(金)
- ・ 全国公立コンサートホール企画連絡会議 通年

- ・オルガン普及プログラム (パイプオルガンのふしぎずかん) 令和 5 年 5 月 7 日(日)
(サマーデイズオルガン演奏体験)
令和 5 年 7 月 17 日(月・祝)～18 日(火)
(パイプオルガンのふしぎずかん 2) 令和 5 年 9 月 30 日(土)
- ・「オーケストラはキミのともだち」(実行委員会) 令和 5 年 7 月 29 日(土)
東京交響楽団学校訪問 令和 5 年 6 月 26 (月)～29 日(木)
- ・オペラシアターこんにゃく座
オペラ「タンゲ〜まほうをかけられた舌」+うたのステージ 令和 5 年 10 月 14 日(土)

(2) 演劇事業 90, 374, 358 円

多様な専門機能を持つ劇場を活用し、公共や民間の劇場がプロデュースした企画及び小劇場系の演劇作品や伝統芸能など様々な公演を開催し、にぎわいのある劇場空間の創造と観客の拡大を目指した。本年度より魅力創造事業として「ともに考えるプロジェクト」を実施。アーティストとの連携によりワークショップや講座などを開催し、アーティストと地域を結ぶ事業を実施した。また、演劇スタジオ APRICOT では次世代の舞台芸術を担う子どもたちの優れた人材や観客を育むとともに、ワークショップの実施により、広く演劇に携わる人材の育成と市民への普及啓発を図った。

① 魅力創造事業 (3,034,226)

- ・ともに考えるプロジェクト
小野寺修二作品 市内小学校公演 [りゅーとぴあアウトリーチ事業]
令和 5 年 5 月 30 日(火)～6 月 1 日(木)
- 小野寺修二 演劇ワークショップ 令和 5 年 5 月 29 日(月)～30 日(火)
- JACROW 連携企画ワークショップ 令和 5 年 10 月 21 日(土)～22 日(日)

② 鑑賞事業 (40,666,789)

- ・寄席普及公演 in りゅーとぴあ 令和 5 年 6 月 13 日(火)
- ・M&Oplays「カモメよ、そこから銀座は見えるか？」 令和 5 年 7 月 9 日(日)
- ・ケムリ研究室「眠くなっちゃった」 令和 5 年 11 月 4 日(土)～5 日(日)
- ・PARCO「海をゆく者」 令和 6 年 1 月 7 日(日)
- ・JACROW「闇の将軍」四部作 令和 6 年 1 月 20 日(土)～21 日(日)
- ・二兎社公演「パートタイマー・秋子」 令和 6 年 2 月 14 日(水)
- ・水都寄席「春風亭小朝独演会」 令和 6 年 3 月 3 日(日)

③ 育成事業 (12,188,421)

- ・りゅーとぴあ演劇スタジオ APRICOT 通年
- 2023 夏季公演「雪の女王」 令和 5 年 8 月 5 日(土)～6 日(日)
- 2024 冬季公演「サンタとケーキがないクリスマス!」 令和 5 年 12 月 16 日(日)
- 春季発表会 令和 6 年 3 月 9 日(土)～10 日(日)

④ 普及事業 (34,484,922)

- ・第 3 回新潟劇王 【共催事業】 令和 5 年 5 月 6 日(土)～7 日(日)

- ・たいらじょう人形劇ミュージカル「オズの魔法使い」[開館 25 周年事業]

令和 5 年 7 月 15 日(土)

- ・子どもと舞台芸術大博覧会 [開館 25 周年事業] 令和 5 年 8 月 17 日(木)～20 日(日)
- ・ミュージカル「ピーター・パン」[開館 25 周年事業] 令和 5 年 8 月 26 日(土)～27 日(日)
- ・第三十五回ふるまち新潟をどり 令和 5 年 9 月 23 日(土・祝)
- ・シニア劇団りゅーと公演「小栗と照手のものがたり」【共催事業】

令和 5 年 9 月 10 日(土)～11 日(日)

(3) 能楽事業 36, 458, 157 円

伝統様式に則った本格的な能舞台を活用し、子どもから一般までを対象として普及に重点をおいた鑑賞公演を実施。これに際し、日本語・英語に対応した字幕解説タブレットの貸出サービスを導入した。さらに能狂言に対する知識や興味を高める能楽基礎講座を実施した。併せて、子どもたちを対象としたワークショップやアウトリーチなどの能楽体験ができる事業を開催することで若年層への能楽普及を図った。能楽では開館以来開催している「秋の能楽鑑賞会」「野村万作萬斎狂言公演」を周年事業として実施した。

① 継承事業

- ・茂山狂言公演 令和 5 年 5 月 13 日(土)
- ・春の能楽鑑賞会 [観世流] 令和 5 年 6 月 25 日(日)
- ・秋の能楽鑑賞会 [宝生流] [開館 25 周年事業] 令和 5 年 10 月 29 日(日)
- ・野村万作萬斎狂言公演 (3 回公演) [開館 25 周年事業] 令和 5 年 12 月 8 日(金)～9 日(土)
- ・【日本全国 能楽キャラバン！ in 新潟】観世流特別公演～翁～ 令和 5 年 12 月 24 日(日)
- ・能楽講座「能楽師に聞く 能の楽しみ」(年 3 回) 令和 5 年 5 月 31 日(水)
令和 5 年 9 月 30 日(土)
令和 6 年 2 月 23 日(金・祝)
- ・能ワークショップ [りゅーとびあアウトリーチ事業] 令和 5 年 6 月 8 日 (木)～9 日(金)
- ・おやこ能たいけん教室 令和 5 年 7 月 22 日(土)
- ・狂言ワークショップ&アウトリーチ [りゅーとびあアウトリーチ事業]
令和 5 年 11 月 15 日(水)～16 日(木)
- ・「さわってみよう能の世界」、「のぞいてみよう能の世界」 令和 5 年 12 月 2 日(土)
- ・「能楽堂で楽しむ節分」 令和 6 年 2 月 3 日(土)

(4) 舞踊事業 133, 597, 852 円

全国唯一の劇場専属舞踊団である Noism Company Niigata の活動による新潟オリジナルの質の高い舞踊作品を国内外に向けて創造発信することで、舞踊芸術の振興を図り、アーティストが地域に定住する特性を生かし、市内の舞踊芸術に携わる優れた人材や観客を育むために年間通しての Noism オープンクラス、ワークショップ及び Noism 以外の舞踊公演に取り組んだ。「りゅーとびあレジデンシャル制度」に基づく 2 年目を迎える活動を引き続き実施しながら他都市の劇場・音楽堂等との連携・協力関係を構築することにより、全市的及び地方の拠点施設としての役割と地位を高めることに努めた。

① 魅力創造事業

ー創造発信事業ー

- ・ Noism Company Niigata カンパニー運営事業
- ・ Noism0/Noism1 金森穰×二見一幸 新作ダブルビル「領域・Field」
[新潟公演] りゅーとぴあ・劇場 (3 回公演) 令和 5 年 6 月 30 日(金)～7 月 2 日(日)
[東京公演] めぐろパーシモンホール・大ホール (3 回公演)
令和 5 年 7 月 14 日(金)～16 日(日)

以下、受託公演

- [新潟東高校] りゅーとぴあ劇場 (1 回公演) 令和 5 年 7 月 4 日(火)
- ・ Noism0/Noism1 Noism×鼓童「鬼」(再演)
[新潟公演] りゅーとぴあ・劇場 (3 回公演) 令和 5 年 12 月 15 日(金)～17 日(日)
[神奈川公演] KAAT 神奈川芸術劇場 (2 回公演) 令和 6 年 1 月 13 日(土)～14 日(日)

以下、受託公演

- [岡山公演] 岡山芸術創造劇場ハレノワ (1 回公演) 令和 6 年 1 月 20 日(土)
- [熊本公演] 熊本市市民会館大ホール (1 回公演) 令和 6 年 1 月 25 日(木)
- ・ Noism2 定期公演 Vol.14+Noism1 メンバー振付公演 2023 (2 回公演) 劇場
令和 5 年 4 月 22 日(土)～23 日(日)
- ・ Noism2 定期公演 Vol.15(5 回公演) スタジオ B 令和 6 年 3 月 1 日(金)～3 日(日)

ー地域貢献事業ー

- ・「柳都会」 年 2 回
Vol.27 栗川治×山田勇気 令和 5 年 6 月 23 日(金)
Vol.28 矢部達哉×井関佐和子 令和 6 年 2 月 4 日(日)
- ・ 市民のための Noism オープンクラス 24 回
令和 5 年 4 月 9 日(日)～令和 6 年 3 月 31 日(日)
- ・ Noism サマースクール 9 回 令和 5 年 8 月 11 日(金)～13 日(日)
- ・ Noism2 舞踊アウトリーチ公演 [りゅーとぴあアウトリーチ事業] 16 回
[受託公演] 4 回
令和 5 年 6 月 6 日(火)～15(木)、10 月 24 日(火)～11 月 2 日(木)

ー受託事業ー

- ・ 黒部シアター2023 春 (富山県黒部市) 令和 5 年 5 月 20 日(土)～21 日(日)
- ・ SalaD 音楽祭 (東京都) 令和 5 年 8 月 6 日(日)
- ・ 日本バレエ協会「全国合同バレエの夕べ」 (東京都) 令和 5 年 8 月 11 日(金・祝)
- ・ アースセレブレーション 2023 (佐渡市) 令和 5 年 8 月 19 日(土)～20 日(日)
- ・ 新潟北高校学校鑑賞会 りゅーとぴあ劇場 (1 回公演) 令和 5 年 11 月 7 日(火)
- ・ 全米桜祭り開会式 (アメリカ・ワシントン) 令和 6 年 3 月 23 日(土)
- ほかワークショップ等多数

ー招聘鑑賞事業ー

- ・ 舞踊企画招聘公演 Co.山田うん 「In C」 令和 5 年 9 月 8 日(金)
- ・ 共催事業 東京バレエ団×金森穰「かぐや姫」 令和 5 年 12 月 2 日(土)～3 日(日)

(5) 共催事業	280 円
実演家団体、文化事業実施団体等とのタイアップにより、効果的な事業運営と地域の芸術文化活動及び振興を図った。 ・ 壮大なオーケストラで聴く ドラゴンクエストの世界 令和 5 年 9 月 2 日(土) ・ 第 71 回新潟市芸能まつり (新潟市音楽芸能協会) 令和 5 年 10 月 1 日(日)～令和 6 年 1 月 28 日(日) ・ ゴールドリボン 小児がんチャリティー 加藤登紀子コンサート 2023 令和 5 年 10 月 22 日(日) ・ 劇場で踊ろう！ダンスキッズ大集合(新潟県女子体育連盟) 令和 5 年 12 月 23 日(土)	
(6) 広報営業事業(企画管理事業)	16,338,000 円
公演情報等をマス媒体に加え自社媒体（印刷物やホームページ）上や SNS で積極的に発信するとともに、チケット購入者の拡大や大口の顧客確保、ホールスポンサー制度など、広報・営業活動を効果的に展開した。併せて施設機能を広くアピールすることで、会館の知名度の拡大と利用促進を図った。また、顧客分析を実施し、新規顧客や友の会会員の獲得、業務の効率化を図った。 指定管理を受託している新潟県民会館の事業も自社媒体等で効果的に展開し、市民芸術文化会館、音楽文化会館、県民会館の 3 館一体管理による文化ゾーンとしての魅力を高め発信した。 ・ 広報営業事業 ・ 演劇広報事業	
(7) 調査研究諸費(企画管理事業)	812,410 円
次年度以降の事業の企画立案、適切な振り返り（自己評価）、資金調達、マーケティング、デジタルトランスフォーメーション、円滑な施設運営等の実施を図るため、先進の事例やノウハウ等の調査、研究、習得を進め、併せて人的交流の拡大に努めた。	
(8) 事業企画諸費(企画管理事業)	3,988,024 円
専属オルガニストを引き続き配置し、オルガン音楽の魅力を発信した。 ・ 専属オルガニスト	
(9) 事業管理経費(企画管理事業)	26,475,135 円
票券業務、託児サービス業務等を引き続き実施し、お客様の利便性の向上に努めた。併せて、全事業に共通する管理的事務経費を本予算から執行した。	
(10) 事業企画部人件費	134,326,943 円

2 文化施設管理受託事業 608, 514, 652 円

(1) 市民芸術文化会館管理事業 476, 802, 444 円

平成 10 年 10 月に開館した市民芸術文化会館は、通年の自主事業・貸館事業等に市民を始めとする多くの方々に来館いただいている。

令和 5 年度も一層のサービス向上に努め、より多くの来館者に安心・快適に利用してもらえるよう管理運営を行った。

- ① コンサートホールの管理
- ② 劇場の管理
- ③ 能楽堂の管理
- ④ ギャラリーの管理
- ⑤ スタジオの管理
- ⑥ 練習室の管理

※ 令和5年度市民芸術文化会館入館者数 271, 362 人

(2) 音楽文化会館管理事業 131, 712, 208 円

昭和 52 年 11 月に開館した音楽文化会館は、13 の練習室と成果発表に多く使用されるホールを備えた全国でも特徴のある施設として永く市民に親しまれている。

令和 5 年度も市民芸術文化会館及び県民会館との一体的な管理を図りながら会館の管理運営を行った。

- ① ホールの管理
- ② 練習室（13 室）の管理

※ 令和5年度音楽文化会館入館者数 112, 486 人

1 文化事業 10, 442, 946 円

大小ホール、ギャラリーなどの諸施設を活用した、多様な鑑賞事業を再開するとともに、芸術の普及と県内の文化を担う人材の育成を図るための事業を実施した。また、鑑賞者の固定化が進む中で、そのすそ野を広げるために幅広い年齢層にアピールする事業を展開した。

令和6年4月からの障害者差別解消法の改正に先立ち、インクルーシブコンサートを実施した。

チケット販売システムや広告媒体の市民芸術文化会館との共有を引き続き行うとともに、旅行者との協働で文化事業のチケットの旅行商品への組み込みを行うことにより、利用者の利便性の向上と事業の拡大・促進を図った。

(1) 企画展示事業

従来、貸館利用が主であったギャラリーを利用して、家族連れや若者等、幅広い年齢層に楽しんでもらえる絵本をテーマの企画展で、観賞者の層を広げた。アンケートによる来館者中の30代以下の割合は66%だった。また、地元のボランティア団体等と協力し、絵本の読み聞かせや各種ワークショップを開催した。

・「tupera tupera のかおてん。」

令和5年4月1日（土）～5月7日（日） 37日間 鑑賞者数 12,771人

(2) ミュージカル・音楽劇事業

大ホールを活用した、ファミリー向け中心の大規模で質の高いミュージカルを展開し、若い層の集客ができた（アンケートによる30代以下の割合は、DADDY 75%、アニー 43%）。

・ミュージカル「DADDY」

令和5年4月22日（土） 1回公演 鑑賞者数 1,172人

・ミュージカル「アニー」

令和5年8月27日（日） 2回公演 鑑賞者数 2,402人

・音楽劇『精霊の守り人』

令和5年9月3日（日） 1回公演 鑑賞者数 771人

・劇団四季『クレイジー・フォー・ユー』

令和5年11月17日（金）・18日（土） 2回公演 鑑賞者数 2,717人

・宝塚歌劇 花組 全国ツアー

令和5年11月23日（木・祝） 2回公演 鑑賞者数 3,126人

(3) 音楽鑑賞事業

クラシック音楽をより身近に感じることでできるコンサートを実施することにより、鑑賞者のすそ野を広げることができた（アンケートによる30代以下の割合は、ディズニー・オン・クラシックで60%）。障害を乗り越えたピアニストによるインクルーシブコンサートでは、手話通訳に加え、「体感音響システム」を準備し、聴覚障害者にも音楽を楽しんでいただける環境を整えた。協賛企業の協力で、県内の視覚、聴覚障害の子どもたち、聴覚障害の大人を招待できた。また、新潟発の世界的な芸術集団である「鼓童」の公演を継続した。

- ・ディズニー・オン・クラシック

令和5年9月23日（土・祝） 1回公演

鑑賞者数 1,481人

- ・鼓童『いのちもやして』

令和5年10月22日（日） 1回公演

鑑賞者数 1,464人

- ・西川悟平ピアノインクルーシブコンサート

令和5年12月9日（土） 1回公演

鑑賞者数 767人

（4）伝統文化事業

新たなジャンルである「句会ライブ」に取り組んだ。

- ・夏井いつき句会ライブ

令和5年4月29日（土・祝） 1回公演

鑑賞者数 934人

（5）普及事業

アウトリーチで、障害者福祉施設と特別支援学校を訪問した。

- ・tupera tupera のかおてん．絵本ライブ

令和5年4月1日（土）

参加人数 266人

- ・「奏でつづけよう！ースタインウェイピアノを弾こう」

令和6年2月23日（金・祝）

参加人数 9人

- ・佐渡太鼓体験交流館「出張！たたこう館」訪問アウトリーチ
(NPO 法人友の家、南魚沼市立総合支援学校)

令和6年3月1日（金）

参加人数 105人

- ・佐渡太鼓体験交流館「出張！たたこう館」at 南魚沼市民会館

令和6年3月2日（土）

参加人数 67人

- ・佐渡太鼓体験交流館「出張！たたこう館」at 新潟県民会館

令和6年3月3日（日）

参加人数 93人

（6）育成事業

- ・アートプロデュース講座「市民劇の創作、アウトリーチの意識・効果・課題について」

ワークショップ「県公文加盟館連携のアウトリーチを目指して」

令和6年2月15日（木）

参加人数 38人

2 文化施設管理受託事業 169, 059, 130 円

県民会館管理事業

大小のホール、2 つのギャラリー、4 つの会議室を中心に、コンサートや演劇、美術展、会議など幅広い用途で多くの方々に利用いただいた。

施設の老朽化が進む中、これまで以上にお客様が安心かつ円滑に施設を利用していただけるように、上質なサービスの提供に努めるとともに、会館運営のさらなる効率化を図った。主催者向けの Wi-Fi 設備を完備した他、貸館使用料の支払いに、カードやアプリの利用を可能にするなど、利用者の利便性を高めた。

- ① 大ホールの管理
- ② 小ホールの管理
- ③ ギャラリーの管理
- ④ 会議室・談話室の管理
- ⑤ 展示コーナーの管理

※ 令和5年度新潟県民会館入館者数 234, 281 人

○ 新潟市歴史博物館及び旧新潟税関庁舎等

127, 568, 526 円

1 文化事業 10, 527, 841 円

「新潟市域の歴史的特性を明らかにし、市民の歴史に対する理解を深めると共に、歴史を媒介とした市民交流を行うことにより、市民の社会的活動及び文化的活動に寄与する。」という博物館の設置目的を達成するため、以下の各種事業を行った。

(1) 展示運営更新 243, 084 円

人と水の関りをテーマに新潟市の歴史を紹介。学芸員やボランティアによる展示解説を行った。また、川村修就コーナーの展示ケースを、4月・7月・9月・1月・2月の5回、展示替えした。

(2) 企画展示事業 5, 731, 408 円

興味深いテーマを設定し、地域の歴史・文化を楽しく分かりやすく市民に伝える展示を行った。今年度は指定管理事業として以下の4本の企画展を開催した。

①「長井雲坪」展

幕末から明治にかけて活躍した沼垂出身の画家長井雲坪は、長崎で画を学び、一時新潟へ帰郷したが、おもに長野を拠点に活動した。長野で所蔵されてきた一大コレクションを借用し紹介した。

開催期間 令和5年4月8日～5月28日 44日間

観覧者数 2,674人（うち有料観覧者 1,486人、無料観覧者 1,188人）

②「川村修就と新潟」展

天保14年、新潟町は幕府の領地となり、その管理のため「新潟奉行」が新たに設置された。初代新潟奉行となった川村修就の子孫が新潟市へ寄付した貴重な史料から、新潟奉行設置の経緯や激動の時代を生きた川村家の歴史を伝えた。

開催期間 令和5年7月22日～9月3日 39日間

観覧者数 3,136人（うち有料観覧者 2,023人、無料観覧者 1,113人）

③ 第20回むかしのくらし展「どうぐのどうぶつえん！」

くらしの中で使われる道具には、動物の名前や姿かたちからヒントを得たものが数多く存在する。身近な道具から、動物と私たちのくらしとの関りについて紹介した。

開催期間 令和5年9月16日～12月3日 65日間

観覧者数 6,891人（無料観覧者）

④「収蔵品展・新収蔵品展」

館収蔵資料を効果的に公開するため、テーマを設けて資料を紹介する収蔵品展を毎年開催している。今年度は「いろいろな地図を見る」をテーマに、明治から平成の新潟市の移り変わりを地図で紹介した。また、令和5年度に新たに受け入れた資料を紹介する新収蔵品展を開催した。

開催期間 令和 5 年 12 月 16 日～令和 6 年 1 月 28 日 32 日間

観覧者数 1,931 人（無料観覧）

(3) 教育普及事業 643, 071 円

新潟市の歴史文化への市民の関心や興味のニーズに対応するため、ボランティアなどの人的資源や博物館が有するモノや情報、ライブラリーなどを活用して、歴史に関するさまざまなサービスの提供や活動の提案を行った。

① 体験の広場事業

ボランティアスタッフの協力も得ながら、体験の広場の設備や道具を活用したプログラムのほか、館外での活動も含め、小学生や家族連れ、大人に限定したものなど各種の体験プログラムを計 50 回実施した。

② 博・学連携事業

小学校 67 校・中学校 22 校を受け入れ見学に際し展示解説等を行った。そのほか、学校へ出向いて行う授業を小学校 6 校・中学校 1 校で実施した。また職場体験では中学校 4 校、小学校 1 校から生徒を受け入れた。新潟大学と連携して開講している寄附講義「ミュージアム論」に学芸員を講師に派遣したほか、あらたに新潟大学の「日本・東洋美術史」にも学芸員を派遣した。大学生を対象とする館実習は、通年および夏休み期間集中の 2 本を実施した。

③ 講座事業

調査研究事業の成果を公開し、新潟の歴史や文化に関する「学び」や「楽しみ」を提案することを目的に、幅広いニーズに対応するための以下の各種講座を開催した。

・博物館講座 全 10 回、歴史講座「浜・潟・山の歴史とくらし」全 4 回

館長講座 全 4 回

④ ボランティア事業

敷地ガイドや常設ガイド、体験の広場のプログラムの実施・補助として活動するボランティアを養成するとともに、その活動を支援した。当年の新規希望者は一般が 16 名、高校生 16 名。全登録者数 129 人。

(4) 施設普及事業 2, 104, 540 円

博物館の活動を広く市民に知ってもらうため、リーフレットや「博物館ニュース」(3 回)、年報などの出版物を作成し、新聞・雑誌等を通じて館の広報活動を行うとともに、以下の事業を実施し、博物館の利用推進を図った。

① 地域連携事業の実施

博物館近隣の市民団体と共催で「夕涼みコンサート」(8/19) および「みなと・しもまち・川まつり」(8/27) を開催した。また、コロナ禍前には例年開催していた「堀と桜のコンサート」は、今回も実施されなかった。

② みなとびあファンクラブ

博物館の情報を定期的に会員に向けて提供した。また、会員向けの企画展鑑賞会をはじめ、バスツアー「城下町村上」(6/4)、まちあるき「亀田のまちと砂丘跡を歩く」(10/28)、館長講演会「大化の改新と淳足柵・磐舟柵」(12/3・1/14)、学芸員による講座「絵図にみる新潟ゆかりの有名人」(2/11) を実施した。

(5) 調査研究事業 371,692 円

主に企画展示や収蔵品展に関連した調査・研究を実施した。

そのほか、学芸員の専門分野における研究や館活動を通じた資料調査も随時行い、その成果は博物館講座を通じて市民に報告・還元するとともに、主なものを『研究紀要 20 号』にまとめた。

(6) 資料整理事業 802,441 円

寄贈を受けたり、購入したりした歴史・民俗・美術・図書等の資料を長期的に保存・活用することを目的に、以下の事業を行った。

① 保存環境管理

館蔵資料の長期保存のため、展示室やケースなどの展示施設をはじめ、収蔵施設である本館収蔵庫・旧木場小学校等について、各種の保存環境調査や清掃、防虫対策のためのくん蒸など、IPM に則った各種の保存環境管理を行った。

② 資料収集整理

地域の歴史を語る資料を収集するとともに、資料を管理し活用するために、資料の基礎的データや資料の詳細情報を調査・記録した。

(7) 自主事業「歴史発見プロジェクト」 631,605 円

新潟の歴史に親しみ、自らが歴史を発見する喜びを知ってもらうため、歴史を題材とした以下の自主事業を行った。

① 企画展

「1964」展

世界最速の新幹線が走り出し、アジア初のオリンピックが東京で開催された 1964(昭和 39)年、新潟では国体が開催され、その直後に大地震が発生した。昭和史に残る出来事が続いた 1964 年を振り返った。

開催期間 令和 6 年 2 月 17 日～3 月 24 日 30 日間

観覧者数 2,870 人 (常設展観覧券購入者に限定)

② 古文書解読上達講座

古文書学習の経験者を対象に上達のコツを教える全 10 回の古文書講座。参加登録者 38 名。

③ こども歴史クラブ

小学生を対象にクラブ員を募り、古代から近現代までの人々の暮らしに関わる全 11 回の体験プログラムを実施した。クラブ員 23 名。

④ 大人の体験プログラム

「はじめての水墨画」(5/14) 会場：たいけんの広場 参加者 13 名

⑤ 特別講演会

富田和気氏(石川県金沢城調査研究所所長)「新潟でつく金沢城とその石垣の話」(11/3)
会場：ミュージアムシアター 参加者 62 名

⑥ 古町学

旧新潟町エリアを学びの場とし、市民参加によって歴史・文化・魅力を掘り起こす地域学として実施。

○古町こども研究所

- ・小学生研究員は「白山公園いまむかし 名所すごろくをつくろう」をテーマに、白山公園の現地踏査（9/10）、それを基にすごろくを作るワークショップ（10/7）を行った。参加者 5 名
- ・中学生研究員は「信濃川」を大テーマに設定し、研究員それぞれが独自のテーマを掲げ、指導する学芸員のもと、各自のペースで調査研究活動を行った。参加者 3 名

⑦ 外部への講師派遣

民間や公民館、その他団体主催の講座・講演会等へ、学芸員を 41 回講師として派遣した。

2 文化施設管理受託事業 117, 040, 685 円

歴史博物館及び旧新潟税関庁舎等管理事業

市民に親しまれる博物館を目指して、利用者へのサービスの向上に努め、歴史博物館及び旧新潟税関庁舎等の管理運営を行った。

(1) 歴史博物館管理事業

- ① 博物館本館（常設展示室、企画展示室、ミュージアムシアター、体験の広場、セミナー室、情報ライブラリー等）
- ② 旧第四銀行住吉町支店（応接室、会議室、日本間）
- ③ 屋外施設（広場、堀、園路等）

(2) 旧新潟税関庁舎等管理事業

- ① 旧新潟税関庁舎
- ② 史跡（石段、石積み、石庫等）

(3) 信濃川左岸緑地管理事業

※ 令和5年度歴史博物館入館者数 78, 781 人

1 文化事業 1, 398, 427 円

指定管理の受託事業者として旧小澤家住宅の設置目的に基づき、常設展示とともに企画展事業や教育普及事業などを積極的に開催し、来館者の増加に努めた。

なお、通常の開館時や事業の開催時、団体見学があった時など、その時々状況に合わせてボランティアの皆さんからガイドを行っていただいた。

【旧小澤家住宅の設置目的】

市文化財に指定された旧小澤家住宅を活用し、みなとまちとしての本市の歴史、生活文化、観光資源等に関する情報の提供等を行うことにより、みなとまち新潟に対する市民の理解を深め、市民相互の交流を推進し、もって市民文化の向上及び地域の活性化に寄与する。

(1) 常設展示・企画事業 606, 425 円

【常設展示】

旧小澤家住宅の概要と小澤家の来歴、そして「みなとまち新潟」の歴史や生活文化について、グラフィックパネルで紹介した。

【企画事業】

新潟町の歴史に関連した企画展や旧小澤家住宅の雰囲気と風合いに合わせた日本の伝統的な工芸品展などを開催した。

①「新潟歴史玉手箱」展

期間 令和5年4月1日（土）～5月7日（日）

市内の街中で何気なく目にする胸像や石碑等、見過ごされがちな事物・事象を取り上げ、歴史を掘り起こし紹介した。

観覧者数 1,328人（有料 1,177人・無料 151人）

②「端午の節句飾り」展

期間 令和5年4月28日（金）～5月13日（土）

小澤家に伝わる兜など、端午の節句に合わせた飾りを展示した。

観覧者数 815人（有料 698人・無料 117人）

③「老舗料亭 行形亭の器」展

期間 令和5年5月20日（土）～6月25日（日）

新潟の食・もてなしの文化を支え伝えてきた料亭の老舗「行形亭」で使われた器や資料を展示紹介した。

観覧者数 1,664人（有料 1,446人・無料 218人）

④「みんなの問題・海のごみ」展

期間 令和5年7月15日（土）～7月30日（日）

一般社団法人 JEAN（クリーンアップ全国事務局）との共催。

海洋ごみ問題への関心の普及啓発のため、東日本大震災と漂着ゴミについてのパネルを展示した。

市内でビーチコーミングをしている富川氏より、新潟の浜に流れ着いた漂着物を借用し展示した。8月31日（木）まで。

観覧者数 471人（有料 392人・無料 79人）

- ⑤ 桜井進一氏写真展「七夕まつり・復興まつり」展
 期間 令和5年7月5日（水）～8月27日（日）
 桜井進一氏が撮影した七夕まつりと、新潟大火からの復興を祈念した復興祭りの写真を展示紹介し、往時の姿を回顧した。
 観覧者数 1,651人（有料 1,406人・無料 245人）
- ⑥ 生誕140年「安宅安五郎」展
 期間 令和5年9月9日（土）～9月24日（日）
 新潟市の画家安宅安五郎の生誕140年を記念して、その足跡の一端を紹介した。
 観覧者数 792人（有料 682人・無料 110人）
- ⑦ 新潟郵趣会展「絵はがきと年賀状一時代と共に生きる切手の世界」
 期間 令和5年9月30日（土）～10月9日（月・祝）
 明治期以降の切手・絵葉書・年賀状を通し、当時流行したデザインなど郵趣の魅力の一端を紹介した。
 観覧者数 380人（有料 323人・無料 57人）
- ⑧ 企画展「新潟仏壇工芸」展
 期間 令和5年10月14日（土）～11月5日（日）
 新潟仏壇組合の協力を得て、新潟市の伝統的工芸品である新潟仏壇と、それに係る工芸について紹介した。また、池坊による生け花の展示も行った。
 観覧者数 1,722人（有料 916人・無料 806人）
- ⑨ 「みなとまち新潟の芸と風土」
 期間 令和5年10月25日（水）～11月26日（日）
 市内の各施設と連携して、新潟の歴史を紹介する資料を展示した。
 観覧者数 2,152人（有料 1,276人・無料 876人）
- ⑩ 「伊勢型紙の世界」展
 期間 令和5年11月18日（土）～令和6年1月21日（日）
 日本の染色技法のひとつ「型染」で用いられる「型紙」。その文様の豊かさと魅力を紹介した。
 観覧者数 1,504人（有料 1,206人・無料 298人）
- ⑪ 「ひな人形とからくり人形」展
 期間 令和6年2月17日（土）～3月24日（日）
 小澤家や近隣に伝わるものをはじめ、江戸時代以降のひな人形と、江戸時代のからくり人形を展示した。
 観覧者数 1,508人（有料 1,330人・無料 178人）

(2) 教育普及事業 **94,023 円**

旧小澤家住宅を通して新潟の歴史や文化に関する「学び」と「楽しみ」を提案するため、様々な催し物の開催とともに体験学習を実施した。

- ① 講演会「街角の銅像・記念碑を楽しむ」・・・4月23日（日）
 「新潟歴史玉手箱」展にあわせて、本井晴信氏を講師に、街角の銅像や記念碑についての解説を聞いた。

- ② 古文書講座・・・6月7日(水)、14日(水)、21日(水)、11月8日(水)、15日(水)、
22日(水)

本井晴信氏を講師に、初心者向けの古文書講座を開講した。

- ③ 庭園講習会・・・6月25日(日)、11月25日(土)

旧小澤家住宅の庭園の管理をしている長生園の田辺良夫氏を講師に、松の剪定等の技術を学んだ。

- ④ 生誕140年「安宅安五郎」展 記念イベント「講演会と歌の集い」・・・9月17日(日)

生誕140年「安宅安五郎」展にあわせて、美術研究者山浦健夫氏による「安宅安五郎と新潟市」をテーマにした講演会、ソプラノ歌手笹原美香氏による独唱会、遠州流二野一千社中による生け花の展示を開催した。

- ⑤ 新潟仏壇工芸ワークショップ・・・10月15日(日)・22日(日)・29日(日)・
11月3日(金・祝)

「新潟仏壇工芸」展の関連企画として、伝統工芸士による蒔絵実演、職人指導によるワークショップ(金具打ち・蒔絵塗)を開催した。

- ⑥ 重陽の節句のアレンジメント・・・10月21日(土)

アトリエ tazymazy の長谷川京子氏を講師に、重陽の節句にあわせた菊のアレンジメント作り体験を行った。

- ⑦ クリスマスからお正月まで使える苔玉作り・・・12月2日(土)

アトリエ tazymazy の長谷川先生を講師に、飾りを変えてクリスマスからお正月まで使える苔玉を制作した。

- ⑧ 冬囲い作業の公開・・・12月2日(土)

毎年行っている庭園の冬囲い作業を来館者に公開し、見学可能とした。

- ⑨ 稲穂で作る正月飾り・・・12月3日(日)

新潟アグリクラフトの協力を得て、稲穂など自然の素材を使った正月飾りを作った。

- ⑩ 稲わらで作るひな人形・・・2月17日(土)

新潟アグリクラフトを講師に、自然の素材を使ったひな人形を製作した。

- ⑪ からくり人形の実演・・・3月5日(日)

越後大郷からくり館の館長・日根之和氏を講師に、からくり人形の実演を行った。

- ⑫ フラワーアレンジメント ワンディレッシン・・・3月10日(日)

「花で彩る」の関連企画。1日限りのフラワーアレンジメント教室を開催した。

- ⑬ ボランティアガイド事業

旧小澤家住宅のボランティアガイドに館内の案内をお願いした。

(3) 施設普及事業 616,704 円

旧小澤家住宅での様々な楽しみ方を提案するため、お月見やお正月など時候に合わせた「しつらい」とともに催し物を実施した。

国際課による翻訳テキストを元に、リーフレットの英語版、中国語(簡体字)版、韓国語版、フランス語版、ロシア語版を新たに作成した。

また、事業取組の参考とするため、来館者ニーズのアンケート調査を実施した。

- ① 藤見煎茶会・・・5月14日(日)

藤の季節にあわせて、煎茶会を開催した。

- ② かえるまつり・・・6月1日（木）～6月30日（金）
 今年も6月6日の「かえるの日」に合わせて、職員ら有志が持ち寄った蛙をモチーフにした置物、ぬいぐるみ、手拭いや絵本などを展示した。
 福祉事業所が作成したさをり織りのポーチ「かえるちゃん」や、かえるクッキーなどかえるグッズの販売も行った。
- ③ 夏至祭・・・6月18日（日）
 夏至の日にあわせて、毎年恒例の「夏至祭」を開催した。
 かき氷や焼き菓子、カクテルやコーヒーといった飲食物やお花の販売を行い、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止していたアルコールの提供も再開した。
- ④ 旧小澤家住宅 おやつの日・・・7月8日（土）、8月12日（土）
 市内の飲食店を招いておやつの販売を行った。（旬果甘味店ルコト、柿の木珈琲店）
 こはく会による、唄と三味線と踊りのライブと、新潟まつりに向けた佐渡おけさと新潟甚句の講習会も開いた。
- ⑤ 立川志の彦 落語口演会・・・7月15日（土）
 落語家の立川志の彦氏を招いて、子ども向けと大人向けの落語会を開催した。
- ⑥ たねをまく朝ごはんと昼ごはん会 ちいさな量り売りマーケット・・・7月30日（日）
 新潟の農家・お店の野菜やスープやパンの量り売りを行った。今回は「みんなの問題・海のごみ」展にあわせてプラスチックをテーマにし、ビニール袋の代わりに新聞紙の袋や持参したタッパーを利用するなどした。
 新潟の食材を使用した少人数の朝ごはん・昼ごはん会も開催した。
- ⑦ 文化の日 無料公開・・・11月3日（金・祝）
 文化の日にちなみ、新潟市内の文化施設とともに入館料を無料とした。
- ⑧ 旧小澤家住宅 秋の文化祭・・・11月23日（木・祝）
 今回8回目のイベント。一日限定 BAR を台所に設置し、情報案内所ではパンや焼き菓子の販売を行った。刺繍や蝋燭作りのワークショップ、お花の販売や、こはく会による唄と三味線と踊りのライブも行った。
- ⑨ 年忘れ煎茶会・・・12月3日（日）
 煎茶道東阿部流による年末の煎茶会を開催した。
- ⑩ コーヒー等の販売・・・12月9日（土）、23日（土）、1月13日（土）、20日（日）、2月24日（土）、3月30日（土）
 新潟市内のコーヒーや焼き菓子やパンや焼き芋、小物の販売店を招き、来館者への販売を行った。
- ⑪ たねをまくレストラン 冬のお粥御膳と甘味・・・2月12日（月・祝）
 冬の食材で作ったお粥やおばんざい、甘味やお汁粉を提供し、厳しい冬を乗り越えてきた先人の知恵や、新潟の冬の恵みについて旬果甘味店ルコトの店主に解説していただいた。
- ⑫ 箏と尺八の演奏会・・・2月23日（金・祝）
 「ひな人形とからくり人形」展にあわせて、箏と尺八による春らしい曲の演奏会を開催した。
- ⑬ 市民企画フラワーアレンジメント「花で彩る」・・・3月2日（土）～3月10日（日）
 アトリエ tazymazy の協力により、通り土間をフラワーアレンジメントで彩った。

⑭ ミニ展示

通り土間や茶の間に、氷コップや豆ランプ、ステンドグラスや人形などを展示した。

(4) 調査研究事業 3, 156 円

みなとまち新潟に対する市民の理解を深めるため、小澤家文書や小澤家より寄贈された資料を調査した。

「旧小澤家住宅周辺の歴史的町並みを考える会」に賛助会員として参加した。

(5) 収蔵資料保存管理事業 78, 119 円

資料の仮整理・収蔵作業を行った。

2 文化施設管理受託事業 14, 548, 472 円

旧小澤家住宅管理事業

指定管理の受託事業者として新潟市文化財旧小澤家住宅の適正な維持管理運営を行い、来館者および利用者へのサービスの向上に努めた。

※ 令和5年度旧小澤家住宅入館者数 13, 809 人

1 付帯事業 20, 460, 898 円

(1) 市民芸術文化会館付帯事業 17, 856, 233 円

市民芸術文化会館の文化事業を推進し、館のイメージアップを図るため、来館者へのサービスを充実するとともに施設に触れる機会の提供に努めた。

- ① 友の会の運営
- ② ショップの運営
- ③ 飲食サービスの実施
- ④ 貸館公演チケットの受託販売
- ⑤ バックステージツアーの実施

(2) 音楽文化会館付帯事業 1, 727, 771 円

来館者に対するサービスを充実するとともに、館の認知度を高めるため、施設に触れる機会の提供に努めた。

- ① 自動販売機等の設置
- ② 貸館公演チケットの受託販売
- ③ 市民参加型企画の実施

(3) 新潟県民会館付帯事業 230, 947 円

来館者へのサービスをより充実させるため、鑑賞用グッズの販売や県民会館及び他館で開催される催し物チケットの受託販売、各種自動販売機の設置などを実施した。

- ① 県民会館貸館及び県内他館で開催されるチケットの受託販売
- ② 自動販売機の設置
- ③ その他サービス事業の実施

(4) 歴史博物館付帯事業 612, 922 円

来館者に対するサービスの充実を目的に、歴史に関する書籍やグッズ類を扱ったショップの運営や自動販売機の設置を行った。

- ① 物販等ショップの運営
- ② 自動販売機の設置
- ③ 企画展関連物販

「むかしのくらし どうぐのどうぶつえん！」展にあわせて、近隣の店舗等にご協力いただき、動物をモチーフにした商品を販売した。

(5) 旧小澤家住宅付帯事業 33, 025 円

旧小澤家住宅では、新潟漆器、ふろしき、書籍などを受託販売し、季節に合わせてこまめに商品の入れ替えを行っている。

箸置き、手ぬぐい、トートバッグ、Tシャツ、マグカップなどオリジナル商品の開発・販売にも力を入れている。令和5年度は食品営業許可を取得し、通年で飲食品の販売を行えるようになった。

2 施設貸与事業 **223, 724, 995 円**

来館者へのサービスの充実を図るため、公益目的以外の活動に対しても施設の貸出を行った。

- | | |
|------------|--------------|
| ① 市民芸術文化会館 | (48,889,335) |
| ② 音楽文化会館 | (1,464,949) |
| ③ 県民会館 | (63,484,378) |
| ④ 歴史博物館 | (91,960,538) |
| ⑤ 旧小澤家住宅 | (17,925,795) |

2 令和6年度事業計画

令和6年度事業計画

当財団は、新潟市民の芸術文化及び歴史文化の振興を図り、もって、自主的自発的な市民文化の創造に寄与することを目的とする公益財団法人として、新潟市において感動と驚きに出会い、そして共に生きる絆を創る人々の文化的プラットフォームの構築に寄与し続けるための事業を進めます。

令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行し、令和6年春には新潟駅の新たなバスターミナルの利用が開始されるなど、人・モノ・情報の動きが活発化する状況下で、令和6年度も魅力ある事業を国内外に向け発信し、まちの賑わいの創出に寄与します。

財団運営では、新潟市の財政が厳しい状況にある中、事業の効率化に努め、経費の圧縮と節約を常に意識しながら取り組みを進めます。

公1 事務局事業

36,391 千円

文化事業

36,391 千円

平成28年9月に設立した「アーツカウンシル新潟」の運営を通じ、市民の自主的な文化芸術活動を支援するほか、新潟市の文化的な環境の充実、各分野の文化活動の活性化を目的とした事業を実施する。また、新潟市の文化政策の推進を総合的に支援する。

(1) 「アーツカウンシル新潟」の運営

24,171 千円

新潟市民の文化芸術活動の活性化を図るとともに、令和6年度から開始される『新潟市文化創造都市ビジョン』との整合性をとりながら、体制等の整備を進める。

また、文化芸術基本法に基づき、「文化芸術により生み出される様々な価値を文化芸術の継承、発展及び創造に活用することが重要である」という観点から、地域の歴史、風土等を反映した特色ある文化芸術の発展及び観光、まちづくり、国際交流、福祉、教育、産業その他の各関連分野における施策との有機的な連携に取り組む。

<文化芸術活動の支援>

事業実施、助成等の資金調達、情報発信及び広報等、文化芸術活動全般に関する市民団体等の相談を受け付け、助言、マッチング等の支援を行う。また、市民の文化芸術活動の活性化と、持続・自律化に向けて、国や民間財団等が実施する助成制度を活用した支援を行う。

助成制度の運用に関しては、令和5年度から開始した「文化芸術活動に関する支援事業」における助成対象者の拡大や一部メニューの助成上限額を引き上げ、実施する。

アーツカウンシル新潟へのアクセス機会・選択肢拡大および、文化芸術の機能・効果への理解・関心の醸成をめざして令和5年度に初めて開催した座談会（「にいがた」を“ぶんか”で〇〇する作戦会議）を令和6年度も実施する。

<調査・研究>

市内現況調査及び国内の先進事例調査等、文化芸術活動に関する相談受付、新潟市の文化振興に関する調査・研究を行う。

<情報発信>

市内の文化芸術活動を効果的に発信するため、SNS やホームページを活用、適宜更新し、支援情報等、効果的な情報発信を行う。また、アーツカウンシル新潟の PR と、市民文化芸術活動団体の掘り起しや交流によるネットワーク形成等を目的に、有識者等、ゲストを交えた交流企画「語りの場」を概ね 4 回程度開催する。

また、国内の地域アーツカウンシルの相互の連携強化を図る目的で組織された「アーツカウンシル・ネットワーク」の運営業務を独立行政法人日本芸術文化振興会から受託し、全国的な地域アーツカウンシルのネットワーク形成を支援する。

<企画・立案>

他組織・団体からの相談内容等に応じて、アーツカウンシル新潟および財団の目的達成に寄与する事業に対して開催に関する協力を行う。また、令和 6 年度からの『新潟市文化創造都市ビジョン』で示される位置づけに応じて、新潟市との協力・連携により、情報交換・連携を進める。

(2) 坂口安吾顕彰事業 9,731 千円

新潟市内公共施設等で資料展示を行うほか、「坂口安吾デジタルミュージアム (HP)」の充実、安吾顕彰団体と連携を図っての生誕祭の実施により安吾の普及啓発に努める。また、引き続き関連資料の調査研究を行う。

(3) 共催事業 2,367 千円

対象が市内広域におよぶ、文化振興に大きく貢献する以下の文化事業を共催し、負担金を支出する。

- ・ 第 72 回新潟市芸能まつり
- ・ 第 56 回新潟市美術展
- ・ 第 36 回新潟市郷土芸能公演

(4) 表彰顕彰事業 122 千円

新潟市美術展などの新潟市で開催される公募展に財団賞を交付する。

○ 新潟市民芸術文化会館及び新潟市音楽文化会館

1, 115, 358 千円

1 文化事業 570, 432 千円

市民芸術文化会館の3つの専門ホールと音楽文化会館等諸施設を十分に生かした、質の高い創造性あふれる鑑賞事業を主催するとともに、ジュニア世代の育成と舞台芸術の愛好者の拡大を目的とした育成普及事業を行うことで、新潟市における芸術文化の振興を図る。

また、新潟市及び全国に向け積極的に音楽・演劇・能楽・舞踊などの舞台芸術を創造発信することにより、新潟市の芸術文化活動の拠点施設としての役割を果たすとともに、シビックプライドの醸成と我が国の芸術文化の振興に努める。

(1) 音楽事業 141, 830 千円

東京交響楽団との提携による質の高い演奏と幅広い曲目内容の演奏会、日本を代表するコンサートホールにふさわしい演奏家を招聘した世界水準の演奏会、音楽ファン拡大のための演奏会など、バラエティに富んだプログラム内容を実施する。このほかの企画内容においても硬軟取り混ぜ、市民各層のさまざまなニーズに応えるラインナップとした。

① 魅力創造事業 (72,683)

ー東京交響楽団シリーズー

・東京交響楽団新潟定期演奏会

第136回 ラヴェル：道化師の朝の歌（管弦楽版）一鏡 より
組曲「マ・メール・ロワ」

令和6年6月16日(日)

ストラヴィンスキー：バレエ音楽「ペトルーシュカ」（1947年版）

第137回 ラヴェル：クーブランの墓（管弦楽版）
ブルックナー：交響曲 第7番 ホ長調 WAB107

7月21日(日)

第138回 ストラヴィンスキー：弦楽のための協奏曲 二調
モーツァルト：ヴァイオリン協奏曲 第5番 イ長調 K.219「トルコ風」

9月15日(日)

チャイコフスキー：交響曲 第1番 ト短調 op.13「冬の日の幻想」

第139回 コネッソン：輝く者ーピアノと管弦楽のための
ラヴェル：ピアノ協奏曲 ト長調

10月6日(日)

ムソルグスキー（ラヴェル編）：組曲「展覧会の絵」

第140回 ベートーヴェン：「エグモント」序曲
ベートーヴェン：交響曲 第9番 ニ短調 op.125「合唱付き」

令和7年3月23日(日)

・東京交響楽団特別演奏会

東京交響楽団特別演奏会×映画音楽「ジョン・ウィリアムズ大作戦！」

令和6年5月26日(日)

② 鑑賞事業 (30,487)

ーピアノ・リサイタルシリーズー

- ・アリス＝紗良・オット 令和 6 年 9 月 23 日(月・祝)
- ・福岡洸太郎 令和 6 年 10 月 9 日(水)

ー室内楽シリーズー

- ・ヴォーチェ弦楽四重奏団 令和 6 年 6 月 11 日(火)
- ・カルテットインテグラ 令和 6 年 9 月 16 日(月・祝)
- ・5 台ピアノの世界 令和 6 年 10 月 19 日(土)
- ・三浦一馬キンテート 令和 6 年 11 月 30 日(土)

ーオルガン・シリーズー

- ・濱野芳純オルガン・リサイタル 令和 6 年 7 月 20 日(土)
- 令和 6 年 12 月 20 日(金)
- 令和 7 年 3 月 15 日(土)
- 令和 6 年 5 月 25 日(土)

- ・ロレンツォ・ギルミエ オルガン・リサイタル

ー歌の花束シリーズー

- ・タリス・スコラーズ 令和 6 年 7 月 3 日(水)
- ・東京混声合唱団 バレンタインコンサート 令和 7 年 2 月 1 日(土)

ーホール体験事業ー

- ・1 コインコンサート
- Vol.130「トランペット」 令和 6 年 5 月 16 日(木)
- Vol.131「チェロ&オーボエ」 令和 6 年 6 月 28 日(金)
- Vol.132「ヴァイオリン」 令和 6 年 7 月 24 日(水)
- Vol.133「オルガン」 令和 6 年 9 月 12 日(木)
- Vol.134「ファゴット四重奏」 令和 6 年 10 月 4 日(金)
- Vol.135「サクソフォン」 令和 6 年 11 月 19 日(火)

③ 育成事業 (30,985)

ー市民参加事業ー

- ・にいがた東響コーラス 令和 6 年 9 月～令和 7 年 3 月

ージュニア等育成事業ー

- ・ジュニアオーケストラ教室育成事業 通年
- 第 43 回演奏会 令和 6 年 8 月 25 日(日)
- クリスマス・コンサート 令和 6 年 12 月 15 日(日)
- ・ジュニア合唱団育成事業 通年
- 第 34 回定期演奏会 令和 6 年 7 月 14 日(日)
- クリスマス・コンサート 令和 6 年 12 月 14 日(土)
- ・ジュニア邦楽合奏教室育成事業 通年
- 第 29 回定期演奏会 令和 6 年 7 月 28 日(日)
- ・ジュニア音楽教室第 21 回スプリングコンサート 令和 7 年 3 月 30 日(日)
- ・全国公立ジュニアオーケストラ連絡協議会 通年

- ・新潟県少年少女合唱団合同演奏会（見附市文化ホールアルカディア）
令和6年8月25日（日）
- ・にいがたジュニアコーラスフェスティバル（北区文化会館）
令和7年2月9日（日）
- ーオルガンほか事業ー
- ・オルガン講座（通年・短期）
通年
- ・りゅーとぴあ音楽アーツ・マネジメント研修事業
令和6年8月14日（水）～17日（土）

④ 普及事業（7,675）

- ・りゅーとぴあアウトリーチ事業[音楽]
第5期登録アーティストアウトリーチ(小学校訪問)
通年
第5期登録アーティスト リサイタル（スタジオA）
令和6年12月7日（土）～8日（日）
- ・全国公立コンサートホール企画連絡会議
通年
- ・オルガン普及プログラム（サマーデイズ）
令和6年8月予定
（オルガン・ニューイヤー）
令和7年1月予定
- ・「オーケストラはキミのともだち」（実行委員会）
令和6年8月17日（土）
- ・東京交響楽団学校訪問（アウトリーチ）
令和6年6月予定
- ・オペラシアターこんにゃく座 オペラ「ルドルフとイッパイアッテナ」
令和6年11月16日（土）

(2) 演劇事業 91,367 千円

多様な専門機能を持つ劇場を活用し、公共や民間の劇場がプロデュースした企画及び小劇場系の演劇作品や伝統芸能など様々な公演を開催し、にぎわいのある劇場空間の創造と観客の拡大を目指す。またアーティストとの連携によりワークショップや講座などを行い、アーティストと地域を結ぶ事業を展開する。ジュニア劇団 APRICOT では次世代の舞台芸術を担う子どもたちの優れた人材や観客を育むとともに、ワークショップの実施により、広く演劇に携わる人材の育成と市民への普及啓発を図る。

① 魅力創造事業（5,737）

- ・ともに考えるプロジェクト
小野寺修二 演劇ワークショップ発表公演
令和6年9月1日（日）
小野寺修二作品 市内小学校公演 [りゅーとぴあアウトリーチ事業]
令和6年10月予定
- ヨーロッパ企画 連携企画
未定
- 劇団 MONO 連携企画
未定

② 鑑賞事業（57,125）

- ・三谷幸喜×戸田恵子「虹のかけら～もうひとりのジュディ」
令和6年6月12日（水）
- ・ナイロン 100℃ 結成 30 周年公演
令和6年7月27日（土）～28日（日）
- ・ヨーロッパ企画「来てけつかるべき新世界」
令和6年9月16日（月・祝）
- ・水戸芸術館制作「リトルセブンの冒険」
令和6年10月12日（土）
- ・「ワタシタチハモノガタリ」【共催事業】
令和6年10月18日（金）～19日（土）

・M&Oplays 岩松了新作	令和6年11月21日(木)
・劇団 MONO 新作公演	令和7年2月22日(土)
・NE/ST プラス 劇団 iaku 公演	未定
・東京芸術劇場制作「佐々木蔵之介一人芝居」	未定
・水都寄席「春風亭小朝独演会」	未定

③ 育成事業 (16,422)

・りゅーとぴあ演劇スタジオ APRICOT	通年
2024 夏季公演	令和6年8月10日(土)～12日(月・祝)
2024 春季公演	令和7年3月15日(土)～16日(日)

④ 普及事業 (12,083)

・世田谷パブリックシアター制作「老いをめぐるささやかな冒険」	令和6年4月14日(日)
・第4回新潟劇王【共催事業】	令和6年5月4日(土)～6日(月・祝)
・第三十六回ふるまち新潟をどり	令和6年9月29日(日)
・演劇ワークショップ(一般・シニア向け)	未定

(3) 能楽事業 24,358 千円

伝統様式に則った本格的な能舞台を活用し、子どもから一般までを対象として普及に重点をおいた鑑賞公演を実施する。さらに能狂言に対する知識や興味を高める能楽基礎講座。子供たちを対象とした囃子、囃子と狂言のワークショップやアウトリーチなどの能楽体験ができる事業を開催することで若年層への能楽普及を図る。

① 継承事業

・春の能楽鑑賞会〔宝生流〕源氏物語より「半蔀(はしとみ)」	令和6年5月12日(日)
・狂言普及公演「はじめて狂言！」	令和6年7月15日(月・祝)
・レクチャー能公演「能楽堂で楽しむ怪談」	令和6年8月24日(土)
・秋の能楽鑑賞会〔観世流〕源氏物語より「葵上」	令和6年10月14日(月・祝)
・こども能楽体験&能楽普及公演「さわってみよう能の世界」	令和6年12月1日(日)
・手話で楽しむ能狂言鑑賞会	令和6年12月8日(日)
・野村万作・萬斎狂言公演	令和7年3月1日(土)
・能楽上級講座「もっと楽しめる能楽」	未定
・能アウトリーチ〔りゅーとぴあアウトリーチ事業〕	令和6年6月19日(水)～10日(木)
・狂言アウトリーチ〔りゅーとぴあアウトリーチ事業〕	令和6年9月19日(水)～20日(木)

(4) 舞踊事業 109,490 千円

全国唯一の劇場専属舞踊団である Noism Company Niigata の活動による新潟オリジナルの質の高い舞踊作品を国内外に向けて創造発信することで、舞踊芸術の振興を図る。さらにアーティストが地域に定住する特性を生かし、市内の舞踊芸術に携わる優れた人材や観客を育むために年間通しての Noism オープンクラス、ワークショップ及び Noism 以外の舞踊公演に取り組む。他都市の劇場・音楽堂等との連携・協力関係を構築することにより、全市的及び地方の

拠点施設としての役割と地位を高めていく。

また 20 周年を迎えることから、20 周年記念公演および新潟市が定めた「りゅーとびあレジデンシャル制度」の活動を引き続き充実させていく。

① 魅力創造事業

ー創造発信事業ー

- ・ Noism Company Niigata カンパニー運営事業
- ・ Noism20 周年記念公演 令和 6 年 6 月 28 日(金)～30 日(日)
[埼玉公演] 彩の国さいたま芸術劇場・大ホール 令和 6 年 7 月 26 日(金)～28 日(日)
- ・ 外部振付家招聘公演 近藤良平×金森穰 令和 6 年 12 月 13 日(金)～15 日(日)
[埼玉公演] 彩の国さいたま芸術劇場 令和 7 年 2 月 7 日(金)～9 日(日)
- ・ Noism2 定期公演 令和 7 年 3 月 8 日(土)～9 日(日)

ー地域貢献事業ー

- ・ 「柳都会」 年 2 回 未定
- ・ 市民のための Noism オープンクラス 通年
- ・ Noism サマースクール 未定
- ・ Noism2 舞踊アウトリーチ公演 [りゅーとびあアウトリーチ事業] 通年

ー受託事業ー

- ・ 黒部シアター 2024 春 令和 6 年 5 月 18 日(土)～19 日(日)

(5) 共催事業 36 千円

実演家団体、文化事業実施団体等とのタイアップにより、効果的な事業運営と地域の芸術文化活動及び振興を図る。また、このタイアップ共催により新潟市における全国的規模の事業を開催する。

- ・ 第 72 回新潟市芸能まつり（新潟市音楽芸能協会）
令和 6 年 7 月 15 日(月・祝)～令和 7 年 1 月 26 日(日)
- ・ 劇場で踊ろう！ダンスキッズ大集合(新潟県女子体育連盟) 未定
- ・ ロイヤルリヴァプール・フィル 令和 6 年 5 月 17 日(金)
- ・ 小児がんチャリティコンサート 未定
- ・ バーゼル室内管弦楽団 令和 6 年 6 月 28 日(金)

(6) 広報営業事業(企画管理事業) 32,790 千円

公演情報等をマス媒体に加え自社媒体（印刷物やホームページ）上や SNS で積極的に発信するとともに、チケット購入者の拡大や大口の顧客確保、ホールスポンサー制度など、広報・営業活動を効果的に展開していく。併せて上質な施設機能を広くアピールすることで、会館の知名度の拡大と利用促進を図る。また、顧客分析を実施し、新規顧客や友の会会員の獲得、業務の効率化を図っていく。

指定管理を受託している新潟県民会館の事業も自社媒体等で効果的に展開し、市民芸術文化会館、音楽文化会館、県民会館の 3 館一体管理による文化ゾーンとしての魅力を高め発信していく。

- ・ 広報営業事業
- ・ 演劇広報事業

- ・顧客、顧客開拓、顧客リピーター化等のためのシステム開発

(7) 調査研究諸費(企画管理事業) 942 千円

次年度以降の事業の企画立案、適切な振り返り（自己評価）、資金調達、マーケティング、デジタルトランスフォーメーション、円滑な施設運営等の実施を図るため、先進の事例やノウハウ等の調査、研究、習得を進め、併せて人的交流の拡大に努める。

(8) 事業企画諸費(企画管理事業) 4,072 千円

専属オルガニストを引き続き配置し、オルガン音楽の魅力を発信する。

- ・専属オルガニスト

(9) 事業管理経費(企画管理事業) 27,931 千円

票券業務、託児サービス業務等を引き続き実施し、お客様の利便性の向上に努める。併せて、全事業に共通する管理的事務経費を本予算から執行する。

(10) 事業企画部人件費 137,616 千円

2 文化施設管理受託事業 544,926 千円

(1) 市民芸術文化会館管理事業 475,582 千円

平成10年10月に開館した市民芸術文化会館は、通年の自主事業・貸館事業等に市民を始めとする多くの方々に来館いただいている。

令和6年度も一層のサービス向上に努め、より多くの来館者に安心・快適に利用してもらえるよう管理運営を行う。

- ① コンサートホールの管理
- ② 劇場の管理
- ③ 能楽堂の管理
- ④ ギャラリーの管理
- ⑤ スタジオの管理
- ⑥ 練習室の管理

(2) 音楽文化会館管理事業 69,344 千円

昭和52年11月に開館した音楽文化会館は、13の練習室と成果発表に多く使用されるホールを備えた全国でも特徴のある施設として永く市民に親しまれている。

令和6年度も市民芸術文化会館及び県民会館との連携を図りながら、引き続き多くの市民に利用される施設を目指して管理運営を行う。

なお、老朽化に伴う大規模改修工事により、令和6年5月から当分の間休館する予定となっている。

- ① ホールの管理
- ② 練習室（13室）の管理

○ 新潟県民会館

193, 137 千円

1 文化事業 15, 011 千円

県民会館の舞台機能等を活かした大型舞台芸術の公演や、2つのギャラリーを使用した幅広い年代を対象とする多彩な事業を展開することにより、鑑賞者のすそ野を広げていく。

新潟地震から60年の節目の年にあたり、震災後の復興のシンボルとしての成り立ちを振り返るとともに、デューク・エリントンをはじめとする、全国からの復興支援に対する感謝の気持ちを込めて、ジャズ・ビッグバンドのコンサートを実施する。ギャラリーにおいては、自然科学をテクノロジーを通じて体験する展示を夏休みを含めた長期間開催し、幅広い年代の鑑賞者の来館を促す。

また、引き続き県内全域での芸術文化の普及事業、さらには県内公共文化施設の活性化に向けた事業などを展開する。

- ・王様戦隊キングオージャーファイナルライブツアー2024 令和6年4月21日(日)
- ・宝塚歌劇雪組全国ツアー 新潟公演 令和6年4月25日(木)
- ・新潟地震復興60年コンサート『熱帯JAZZ 楽団』 令和6年6月16日(日)
- ・ミュージカル『この世界の片隅に』 令和6年6月22日(土)・23日(日)
- ・松竹特別歌舞伎(中村獅童のHOW TO かぶき他) 令和6年7月31日(水)
- ・劇団四季『ジーザス・クライスト=スーパースター』 令和6年8月13日(火)・14日(日)
- ・ずかんミュージアム(体験型展示) 令和6年7月27日(土)
～9月27日(日)
- ・ディズニー・オン・クラシック 令和6年9月28日(土)
- ・ディノ・サバイバル 令和6年10月26日(土)・27日(日)
- ・鼓童 令和6年7月27日(土)
- ・ジョージア国立バレエ「くるみ割り人形」 令和6年12月15日(日)
- ・ニュー・イヤーズ・コンサート 令和7年1月5日(日)
- ・アートプロデュース講座 令和7年2月(予定)
- ・奏でつづけよう! 令和7年2月(予定)
- ・出張! たたこう館 令和7年3月8日(土)
- ・出張! たたこう館(弥彦) 令和7年3月9日(日)
- ・出張! たたこう館 訪問アウトリーチ(弥彦) 令和7年3月10日(月)
- ・夏井いつき句会ライブ 令和7年3月15日(土)

2 文化施設管理受託事業 178, 126 千円

県民会館管理事業

県民会館は、県民生活の向上と、教育、文化の発展に寄与するという目的のもとに設置された施設であることから、この設置意義を十分認識し、新潟県内における文化振興の拠点施設として適切に機能するよう管理運営に取り組む。また、新潟市民芸術文化会館及び新潟市音楽文化会館との連携により、より効率的な管理運営を図る。

- ① 大ホールの管理
- ② 小ホールの管理
- ③ ギャラリーの管理
- ④ その他施設（会議室・談話室、展示コーナー、情報ラウンジ等）の管理

○ 新潟市歴史博物館及び旧新潟税関庁舎等

144,243 千円

1 文化事業 13,610 千円

「新潟市域の歴史的特性を明らかにし、市民の歴史に対する理解を深めると共に、歴史を媒介とした市民交流を行うことにより、市民の社会的活動及び文化的活動に寄与する。」という博物館の設置目的を達成するため以下の各種事業を行う。

(1) 展示運営更新 0 千円

常設展示室の通年公開・運営に加え、当展示室の部分展示替え等により情報内容を更新する。

(2) 企画展示事業 8,302 千円

興味深いテーマを設定し、地域の歴史・文化を楽しく分かりやすく市民に伝える展示を行う。
本年度は指定管理事業として以下の4本の企画展を開催する。

① 「北前船と新潟」展

開催期間 令和6年7月27日～9月1日 33日間

新潟市は北前船を主題とした日本遺産「荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間～北前船寄港地・船主集落～」の構成自治体である。北前船は江戸時代から明治時代にかけて、現在の北海道から大阪間の日本海航路において国内流通の一翼を担い、新潟をはじめ航路上の港町を大いに活気づけていった。本展は北前船と新潟の関係を語る資料を紹介し、日本海海運の歴史を紐解く。

また、関連事業として市内に残る「北前船」関連文化財などをめぐるとともに、河川交通や古町芸妓の鑑賞などを盛り込んだ体験型イベントを開催する。

② 第21回むかしのくらし展「くらしの環境（仮）」

開催期間 令和6年9月14日～12月1日 67日間

新潟市域は多様な環境を有し、人々はさまざまな形で自然を利用して生活を営んできた。生活を支える社会・経済基盤の整備や産業の発展に伴い、くらしにおける人々と環境の関わりも変化してきた。市域の人々が営んできたくらしを、環境という視点から振り返る。

③ 収蔵品展・新収蔵品展

同時開催「新令和版 弘長寺二十五菩薩来迎図」展

開催期間 令和6年12月14日～令和7年1月26日 32日間

テーマを設けて館が収蔵する資料を紹介する収蔵品展と、令和6年度に新たに受け入れた資料を紹介する新収蔵品展を開催する。同時開催では、日本画家、永吉秀司氏が手がけた「弘長寺壁画プロジェクト」（関川村）を紹介し、画家の地域貢献や新たな文化財修復方法を提唱する。

④ 「石川侃斎」展

開催期間 令和7年2月8日～3月30日 42日間

江戸時代後期に活躍した新潟町の絵師 石川侃斎の本格的な山水画から、のどかな文人たちの理想の姿を描いたものまで、新潟の人々に愛され伝えられてきたそれらの作品か

ら彼の画業を探ります。

⑤ その他

次年度に開催予定の企画展の準備を行う。(印刷物の作成等)

※このほか、自主事業による企画展を開催する。

(3) 教育普及事業 575 千円

新潟市の歴史文化への市民の関心や興味のニーズに対応するため、ボランティアなどの人やモノ、情報などの資源を活用して、市民へ歴史に関するさまざまなサービスを提供したり、学校等の教育活動を提案したりするとともに、レファレンス用開架図書を追加する。

① 体験の広場事業

小学生や家族連れを主な対象として、「つかう」、「しらべる」、「つくる」という機能を持つ、3つの広場「昔のくらしに触れる場」、「情報学習の場」、「創作活動の場」での体験プログラムを、土・日・祝日を中心に年50回程度開催する。

また、夏休み向けの体験や大人を対象とした体験プログラムなど、対象を設定した体験プログラムも織り交ぜて行う。

② 博・学連携事業

小学校・中学校の見学に際し展示解説等の対応を行うとともに、新潟大学と連携して当館学芸員の寄附講義や大学生の実習受入れを行う。学校のニーズに応じて出前授業にも対応する。また博物館ホームページに新しいコンテンツ制作を予定。

③ 講座事業

調査研究事業の成果を公開し、新潟の歴史や文化に関する「学び」や「楽しみ」を提案するため、幅広い年齢層や個別のニーズに対応する以下の各種講座を開催する。

・博物館講座 年10回(1月、3月を除く各月の第4日曜日、6月第5日曜日)

・館長講座 全4回程度(開催日調整中)

・歴史講座「浜・潟・山の歴史とくらし」 全4回(開催日調整中)

④ ボランティア事業

常設展示解説、敷地解説、体験の広場プログラムでのボランティア活動を支援するとともに、館の顔としてスキルアップを図る。またボランティア活動への新規希望者に向けた研修を行う。

※このほか、自主事業による教育普及事業を実施する。

(4) 施設普及事業 1,870 千円

博物館の活動を広く市民に知ってもらうため、リーフレットや「博物館ニュース」などの出版物を作成し、新聞・雑誌等を通じて館の広報活動を行うとともに、以下の事業を実施し、博物館の利用推進を図る。

① 地域連携

地元市民団体と共催し、博物館を会場に野外コンサートや夏祭りなどのイベントを開催する。

② みなとぴあファンクラブ

「みなとぴあファンクラブ」会員を対象とした事業を行う。講演会や企画展鑑賞会、史跡探訪ツアーや新潟市内の街歩きなどを開催する。

- (5) 調査研究事業 740 千円
- 市民の関心を呼び起こすテーマの探求や博物館活動の発展のために、調査研究活動を行う。
当館の基本テーマである「湊と湊町」「低湿地のくらし」に合わせた調査・研究を基本とし、そのほか学芸員が各自のテーマで調査・研究を実施する。そうした成果を博物館講座等で市民に報告するとともに、研究紀要として刊行する。
- (6) 資料整理事業 775 千円
- 寄贈や購入などにより受け入れた歴史・民俗・美術・図書等の資料を長期的に保存・活用することを目的に、以下の事業を行う。
- ① 保存環境管理
歴史資料を長期保存するための資料保全・環境整備。
新規収集資料の燻蒸・殺虫処置や、博物館収蔵庫・石庫・新潟市文化財センター・旧木場小学校等に所蔵する資料を、よりよい状況で保存するための IPM をはじめとする資料保存環境の管理に努める。
- ② 資料収集整理
地域の歴史資料を収集するとともに、資料を保存管理するための基礎的データや資料活用するための資料情報を調査・記録し、データベース化する整理作業を行う。併せて、資料の保存のためのクリーニング・養生などの処置を行う。
- (7) 自主事業「みなとぴあ歴史発見プロジェクト」 1,348 千円
- 令和3年度から再スタートした自主事業で、こどもからおとなまで幅広く、みなとまち新潟の歴史に親しみ、自ら歴史を発見する喜びを知ってもらい、新潟の街をみんなで盛り上げていこうというもの。事業実施に当たり、地域の企業・団体から協賛金をいただくなど自主財源を確保し、以下の事業を行う。
- ① 企画展
「新潟美人と花街」展
開催期間 令和6年4月13日～6月9日 51日間
新潟美人とは江戸時代から続く湊町新潟の遊女や芸妓を指す言葉で、広く評判を得た彼女たちは、地域ブランドとして湊町の発展を背後から支える存在でもあった。新潟美人と呼ばれた女性たちとその舞台となった花街について紹介する。
- ② 古文書解説上達講座
古文書学習の経験者を対象にした古文書の上達講座。
毎月第4水曜日に実施予定 全10回 定員60人
- ③ みなとぴあこども歴史クラブ
小学生を対象に、古代から現代にいたる人々の暮らしの一端を体験用にプログラム化し、体験を通じて歴史を身近に感じ、かつての暮らしの知恵や文化財保護を考えるきっかけとする。
毎月第3日曜日に実施 全11回 20人程度募集
- ④ 大人の体験プログラム
大人が楽しめる歴史・文化にかかわる体験イベントを企画・実施する。

⑤ 特別講演会

新潟市の枠を超えた歴史をテーマとする講演会を企画・開催する。

⑥ 古町学

旧新潟町エリアを学びの場とし、市民参加によって歴史・文化・魅力を掘り起こす地域学として継続実施する。

2 文化施設管理受託事業 130,633 千円

歴史博物館及び旧新潟税関庁舎等管理事業

市民に親しまれる博物館を目指して、利用者へのサービスの向上に努め、歴史博物館及び旧新潟税関庁舎等に加え、信濃川左岸緑地の管理運営を行う。

(1) 歴史博物館管理事業

- ① 博物館本館（常設展示室、企画展示室、ミュージアムシアター、体験の広場、セミナー室、情報ライブラリー等）
- ② 旧第四銀行住吉町支店（応接室、会議室、日本間）
- ③ 屋外施設（広場、堀、園路等）

(2) 旧新潟税関庁舎等管理事業

- ① 旧新潟税関庁舎
- ② 史跡（石段、石積み、石庫等）

(3) 信濃川左岸緑地管理事業

○ 新潟市文化財旧小澤家住宅

18,119 千円

1 文化事業 971 千円

指定管理の受託事業者として、小澤家住宅の設置目的に基づき以下の各種事業を行う。

【旧小澤家住宅の設置目的】

市文化財に指定された旧小澤家住宅を活用し、みなとまちとしての本市の歴史、生活文化、観光資源等に関する情報の提供等を行うことにより、みなとまち新潟に対する市民の理解を深め、市民相互の交流を推進し、もって市民文化の向上及び地域の活性化に寄与する。

(1) 常設展示・企画事業 194 千円

【常設展示】

みなとまち新潟の歴史・生活文化並びに旧小澤家住宅や小澤家の概要について、グラフィックパネル等で紹介する。

【企画展示】

① 「新潟歴史玉手箱」展

開催期間 令和6年4月13日（土）～5月19日（日）

市内の街中で何気なく目にする胸像や石碑・記念碑等、見過ごされている事物・事象を取り上げ、顕彰来歴をはじめ埋もれかけている歴史的内容を掘り起こし紹介する。

協力：新潟ハイカラ文庫

② 「民藝」展

開催期間 令和6年5月25日（土）～7月7日（日）

筒描の夜着・しな布の暖簾・地元や東北の民窯の器・船簞笥など手仕事によって生まれた味わい深い品々を展示する。

共催：新潟ハイカラ文庫

③ 桜井進一氏写真展「ふるさと新潟海岸―我は海の子―」

開催期間 令和6年7月13日（土）～9月1日（日）

桜井進一氏が撮影した新潟海岸の写真を展示紹介し、往時の姿を回顧する。

④ 「みんなの問題 海のゴミ」展

開催期間 令和6年7月13日（土）～7月21日（日）

一般社団法人J E A N所蔵の海ゴミ問題啓発に関する写真パネルを展示する。

協力：一般社団法人J E A N

⑤ 新潟郵趣会展「オリンピックイヤーに寄せて―時代と共に生きる切手の世界―」展

開催期間 令和6年9月14日（土）～10月6日（日）

明治期以降の切手・絵はがきなどを通じて、郵趣の魅力の一端を紹介する。

共催：新潟郵趣会

⑥ 「新潟仏壇工芸」展

開催期間 令和6年10月12日（土）～11月4日（月）

当市の伝統的工芸品の一つ「新潟・白根仏壇」から「新潟仏壇」を展示する。これに

あたり仏壇製作の技法を用いた仏壇以外の製作物の展示と職人の紹介も行う。

共催：新潟仏壇組合、新潟市

⑦ 小澤家の品々「明治期東京土産写真」展

開催期間 令和6年11月16日（土）～12月22日（日）

明治期の東京名所や著名人が写った名刺サイズの写真を展示する。

⑧「羽子板」展

開催期間 令和7年1月4日（土）～1月19日（日）

小澤家に贈られた華やかな羽子板を展示する。

⑨「ひな人形とからくり人形」展

開催期間 令和7年2月15日（土）～3月23日（日）

上巳にあわせ、当館及び市内で使用された雛人形を展示する。また、新潟ハイカラ文庫所蔵の古式雛や動く人形としてのからくり人形も展示紹介する。

共催：新潟ハイカラ文庫

(2) 教育普及事業 293 千円

新潟市の歴史文化への市民の関心や興味のニーズに対応するため、ボランティアなどの人やモノ、情報などの資源を活用して、市民へ歴史に関するさまざまなサービスを提供したり、学校等の教育活動を提案したりする。

① 体験学習事業

・企画展の内容に即した体験学習

仏壇工芸体験（「新潟仏壇工芸」展中）

稲わらでつくるひな人形 令和7年2月23日（日）

からくり人形実演 令和7年3月2日（日）

・ふろしき講座

・クリスマスのフラワーアレンジメント

・稲穂でつくる正月飾り

・フラワーアレンジメントワンディレクション

② 講座・講習・講演会事業

・企画展の内容に即した講座

・古文書講座 全2回（6月・11月）

・庭園講習会 全2回（令和6年6月22日（土）、11月16日（土））

(3) 施設普及事業 340 千円

旧小澤家住宅の活動を広く市民に知ってもらうため、広報用の印刷物を作成したり、SNSによる情報発信をしたり、新聞・雑誌等を通じて館の広報活動を行ったりする。

また、季節に合わせたしつらいや、イベントの開催などにより、来館の動機付けを行う。

① 芸術文化活動の開催

・市民企画フラワーアレンジメント 花で彩る 令和7年1月中

② 季節に合わせたしつらい

・応接セットの展示 令和6年4月10日（水）～5月10日（金）

・山野草の展示 令和6年5月11日（土）～5月19日（日）

- ・かえるまつり 令和6年6月1日（土）～6月16日（日）
- ・きのこまつり 令和6年10月5日（土）～10月14日（月）

③ 季節に合わせた飲食を伴うイベントの開催

- ・藤見煎茶会 令和6年5月12日（日）
- ・夏至祭 令和6年6月16日（日）
- ・秋の大文化祭 令和6年11月23日（土・祝）
- ・年忘れ煎茶会

④ 企画展をテーマにしたイベントの開催

- ・箏と尺八の演奏会 令和7年2月24日（月・振替休日）

(4) 調査研究事業 20 千円

市民が注目し、深く関心のあるテーマの探求や本施設における活動の発展のために、調査研究活動を行う。

「旧小澤家住宅周辺の歴史的町並みを考える会」に賛助会員として参加する。

(5) 収蔵資料の保存管理事業 124 千円

旧小澤家より寄贈を受けた歴史・民俗・美術・図書等の資料を長期的に保存・活用する。新規受け入れ資料の保存と目録の作成。

2 文化施設管理受託事業 17,148 千円

旧小澤家住宅管理事業

新潟市文化財に指定されていることを理解し、利用者へのサービスの向上に努め、旧小澤家住宅（情報案内所・藤ノ間・百合ノ間・道具蔵・離れ座敷等）の管理運営を行う。

1 付帯事業 23, 938 千円

(1) 市民芸術文化会館付帯事業 21, 356 千円

市民芸術文化会館の文化事業を推進し、館のイメージアップを図るため、来館者へのサービスを充実するとともに施設に触れる機会の提供に努める。

- ① 友の会の運営
- ② ショップの運営
- ③ 飲食サービスの実施
- ④ 貸館公演チケットの受託販売
- ⑤ バックステージツアーの実施

(2) 音楽文化会館付帯事業 1, 630 千円

来館者に対するサービスを充実するとともに、館の認知度を高めるため、施設に触れる機会の提供に努める。

- ① 自動販売機等の設置
- ② 貸館公演チケットの受託販売
- ③ 市民参加型企画の実施

(3) 県民会館付帯事業 29 千円

来館者に対するサービス充実のため、館のイメージアップを図り、施設に触れる機会の提供に努める。

- ① 貸館公演及び県内の他施設での文化芸術公演チケットの受託販売
- ② 自動販売機の設置
- ③ 各種サービス事業の実施

(4) 歴史博物館付帯事業 764 千円

来館者に対するサービスの充実を目的に、歴史に関する書籍やグッズ類を扱ったショップの運営や自動販売機の設置を行う。

- ① 物販等ショップの運営
- ② 自動販売機の設置

(5) 旧小澤家住宅付帯事業 159 千円

来館者に対するサービスの充実を目的に、旧小澤家住宅でしか手に入らないオリジナル商品をはじめ、和の文化、みなとまちや歴史に関するグッズ等を扱ったショップの運営を行う。

2 施設貸与事業 **210, 921 千円**

来館者へのサービスの充実を図るため、公益目的以外の活動に対しても施設の貸出を行う。

- | | |
|------------|----------|
| ① 市民芸術文化会館 | (72,956) |
| ② 音楽文化会館 | (69) |
| ③ 県民会館 | (45,370) |
| ④ 歴史博物館 | (73,800) |
| ⑤ 旧小澤家住宅 | (18,726) |